

結 果 報 告

| | | | | | |
|-------------|----------------------------|-----------|----------------------|----------|-----|
| 大会名 | 平成26年度第66回全日本総合ハンドボール選手権大会 | | | | |
| 競技日 | 12月26日 (金) | 試合番号 | 3-5 | 回戦 | 2回戦 |
| 種別 | 男子 女子 | 会場 | 枇杷島SC ・愛知県体育館 | | |
| Aチーム | | | Bチーム | | |
| オムロン | | | 香川銀行T・H | | |
| 得点合計 | 小計 | | 小計 | 得点合計 | |
| 30 | 18 | 前半 | 2 | 6 | |
| | 12 | 後半 | 4 | | |
| | | 第1延長 (前半) | | | |
| | | 第1延長 (後半) | | | |
| | | 第2延長 (前半) | | | |
| | | 第2延長 (後半) | | | |
| | | 7mTC | | | |

【 戦 評 】

記載者氏名

大橋 陽

女子2回戦は香川銀行のスローオフで前半がスタート。立ち上がりからオムロンがフットワークを生かした激しいディフェンスから速攻につなげ、好スタートを切った。4分、オムロンに退場者が出たところで流れが変わりかけるも、香川銀行はチャンスを得点につなげられない。落ち着きを取り戻したオムロンは13番勝連の速攻を軸に怒涛の攻撃を見せ、16分で11-0と大きくリードした。香川銀行は二度目のタイムアウト後の17分、2番重信のロングが決まりようやく初得点。その後は一進一退の攻防が続くも、オムロンは20分過ぎから7番藤井を中心とした多彩なオフェンスで再び7連取。18-2とオムロン大量リードで前半が終了した。

後半はオムロン・5番稲葉の華麗なバックシュートで幕を開けた。香川銀行はディフェンスラインを下げて後半をスタートするが、オムロンは落ち着いて対応し、25-2とさらに差を広げた。9分、香川銀行は最後のタイムアウトを取り、再び高いディフェンスに戻す。すると中盤以降は速攻を軸に互角の展開となる。香川銀行のスピードのあるオフェンスをオムロンが体を張って守る場面が続いた。終盤、GK1番愛久澤の好セーブなどで香川銀行が盛り返す場面も見られたが、差は埋まらず、30-6の大差でオムロンが準決勝に進んだ。60分間集中したオムロンの素晴らしいディフェンスが光るゲームであった。